

市之川公民館だより 令和7年8月号 (No.620号)

〒793-0037 西条市市之川6678-1 市之川地区人口「6月末現在」
 Tel・Fax (0897) 56-3300 人口 7人(男3人・女4人)
 eメール ichinokawa-k@saijo-city.jp 世帯数 5世帯
 ※ 西条市市之川公民館だよりで検索するとカラー版がご覧になれます。

8月 葉月 (はづき)

睡蓮
【7月23日撮影】



本格的な夏が訪れました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

特に熱中症が心配される季節です。屋外はもとより屋内においても、こまめに水分を補給するようにして下さい。

《8月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
9	土	からおけ会 10:00～ 集会室
11	月	祝 山の日
23	土	からおけ会 10:00～ 集会室

※ 桜の倒木



6月27日(金) 桜の木がグラウンドに倒れていました。翌日にチェーンソー取扱い訓練を兼ね、撤去しました。

撤去後

※ お願い

原爆死没者ならびに戦争で亡くなられた数多くの方々のご冥福と平和を祈念するための黙とうに、ご協力をお願いいたします。

- (1) 広島平和記念日 8月6日(水) 午前8時15分から1分間
- (2) ながさき平和の日 8月9日(土) 午前11時2分から1分間
- (3) 戦没者を追悼し平和を祈念する日 8月15日(金) 正午から1分間

※ 生野銀山・明延鉱山・玄武洞を訪問 (兵庫県)

館長の個人活動の一つでもある、鉱物関係の施設訪問。6月に続いて7月20日(日)～21日(月)に兵庫県の鉱山跡へ行ってきました。



生野銀山 20日(日)

生野銀山 露天掘りの跡

明延鉱山探検坑道入口

明延鉱山探検坑道 20日(日)

明延鉱山坑道内

探検坑道の出口 坑道内から撮影

出口

玄武洞 21日(月)

玄武洞ミュージアムの田中館長に土地改良事業について説明していただきました。昭和41年度の第一次ほ場整備事業完成の記念碑だそうです。

記念碑の近くにある民家の石積。玄武洞で採掘された石を積み上げて作られているそうです。

石積

玄武洞ミュージアムの田中館長に玄武洞等についてお話を伺いました。



田中館長には10時30分～14時まで我々にお付き合い頂き、玄武等ミュージアムの開館から今日に至るまでの過程についてお話を聞かせて頂きました。このミュージアムに多くの方が訪れるようになった大きな要因は道が開通したことだと何度もおっしゃっていただきました。館長のお話をもっと聞きたかったのですが、帰途の時間も迫っており、やむなくミュージアムを後にしました。祝日であり、多くの来館者にも関わらず、我々の対応をして頂いたスタッフの皆さまに感謝です。『特別天然記念物コウノトリ』玄武洞ミュージアム付近の田園で2羽見かけました。これにも感激しました。

※ 鉱山資料室の移転始まる【令和7年7月4日（金）】

市之川公民館が令和8年3月末日に閉館（予定）となるに伴い、鉱山資料室の移転が始まりました。鉱山資料室は3つの部屋がありますが、今回は、図書を展示していた部屋の移転です。展示ケース8個相当が運び出されました。その他の部屋については、8月以降順次、移転していくと聞いております。移転先は西条市考古歴史館です。



市之川公民館 鉱山資料室



展示ケースを車へ積み込み作業中



西条市考古歴史館



7月18日（金）撮影
考古歴史館内 準備中

※ 西条市社会福祉協議会市之川支部から

6月28日（土）社会福祉協議会市之川支部では市之川カラオケ会とのお別れ会を開催しました。食材はイノシシ肉と畑で採れた野菜を持ち寄っての焼肉。皆さんが公民館に集まるのも数回となりました。



2025年7月10日

～毎月10日は人権を考える日～

「学んだことを伝えていく」ことで差別をなくそう

3月末の今治市・西条市の山火事には、びっくりしました。火への恐怖を感じるとともに、自然への畏敬の念を感じずにはいられませんでした。自然を人間が変えることはできません。自然を人間がコントロールできるなんてことは、あり得ません。自然の前では、私たち人間は無力です。しかし、差別は人間が作り出すものです。だからこそ、私たちの力によってなくすことができると考えています。

人権問題について学習する機会は、以前に比べると多いと思います。正しく行動するためには、正しい知識を身につけなければなりません。何が正しいかを判断する力が必要です。広島で被爆された方から、こんな話を聞きました。原爆投下の捉え方は、日本とアメリカではずいぶん違うそうです。アメリカでは、早く戦争を終わらせるためには、原爆投下は必要なことであって、そんなに悪いことではないと子どもたち（高校生）は教わっているそうです。ところが、西条市からアメリカを訪問した、2歳の時に被爆した中学校の教師から、原爆投下の後の広島の町の様子、人々の様子を聞いて、とつてもびっくりしたそうです。翌年に西条市にやってきたそのうちの数名の高校生は、広島の平和記念公園を訪れ、原爆の子の像に全校生徒で折り上げた千羽鶴を捧げたのです。本当のことを知り、自分に何ができるかを考え行動したのです。その翌年、アメリカを訪問したその教師は、今度は全校生徒の前で話をするようになったそうです。このことから、正しく理解することの大切さがよく分かります。

学習したことは、そのままにしておく、やがて薄れていきます。学習したことを活かすにはどうすればいいでしょうか。学んだことを、どなたかに伝えていくのはいかがでしょうか。身近なところを考えれば、まず家族が思い浮かびます。そこから、友達、知人、ご近所さんと広がっていくのではないのでしょうか。そうすることによって、自分の考えがはっきりとしてきますし、他の方の考え方を聞くことができ、思考が広がります。話し合いになれば、より考えが深まっていきそうです。原爆投下の話を聞いたアメリカの高校生は、まさに伝え合ったのではないかと想像します。そして、自分で調べてみようという行動に移したのでしょう。その結果、千羽鶴を折ることを全校生徒に提案し、それを西条の中学校・高校を訪問する代表者に託したのだと思います。

私は、学んだことを家族に伝えているだろうか。そもそも家族と話をしているだろうか。これではいけません。もっともっと家族と話し、家族のことを知らなければと反省します。家族の考え方を把握するとともに、自分の考えを分かってもらえるように話をしていかなければと思います。まずは、4月、5月、6月の「市民意識調査の報告から」を話題にしてみませんか。

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

※ 西条市社会福祉協議会市之川支部から

公民館の花



ハウセンカ

花壇



トレニア

集会室 南側花壇



オシロイバナ

集会室東側